

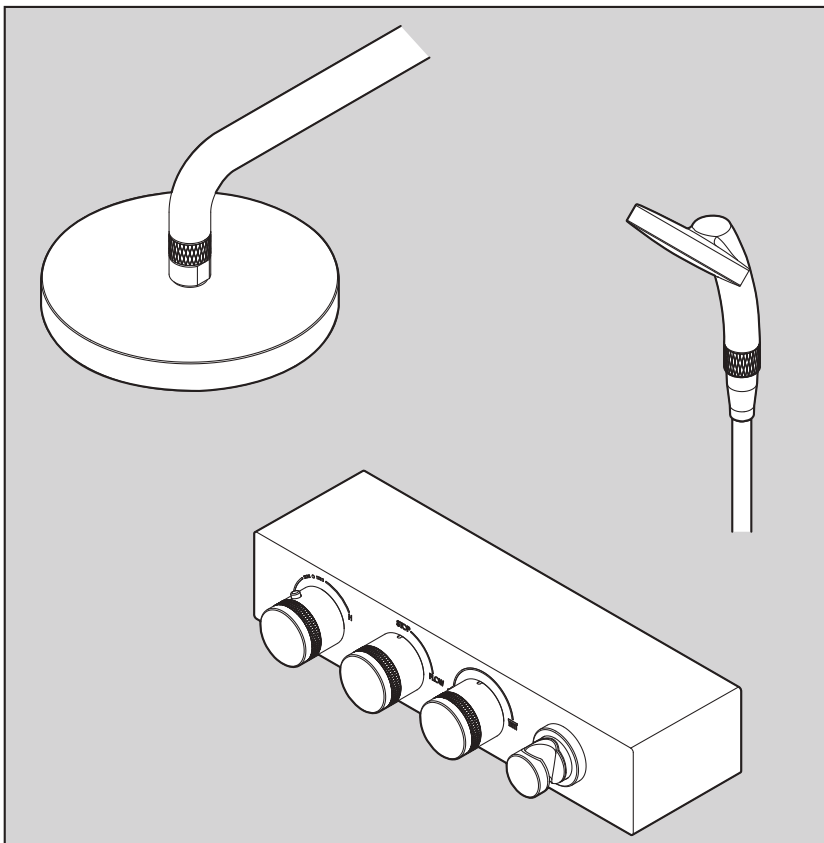
MONOTON

サーモシャワー混合栓

…………… SK9881-1S-DJP-13, SK9881-1S-WJP-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

なお、保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称 …………… 1

施工について

施工に関する安全上のご注意 …………… 2

適切な使用条件 …………… 3

施工前のご注意 …………… 3

梱包明細 …………… 4

施工手順 …………… 5～15

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意 …… 16～19

シャワーヘッド・オーバーシャワーヘッドの切替・流量調節 …… 20

温度調節 …………… 21

凍結予防 …………… 22

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り …………… 22

オーバーヘッドシャワー・シャワーヘッドの掃除 …… 23

ストレーナーの掃除 …………… 23

定期的な点検

可動部分の点検 …………… 24

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ …… 24

定期的な部品交換

逆止弁の交換時期 …………… 24

こんなときは

故障？ その前に …………… 25

本製品の構造 …………… 26

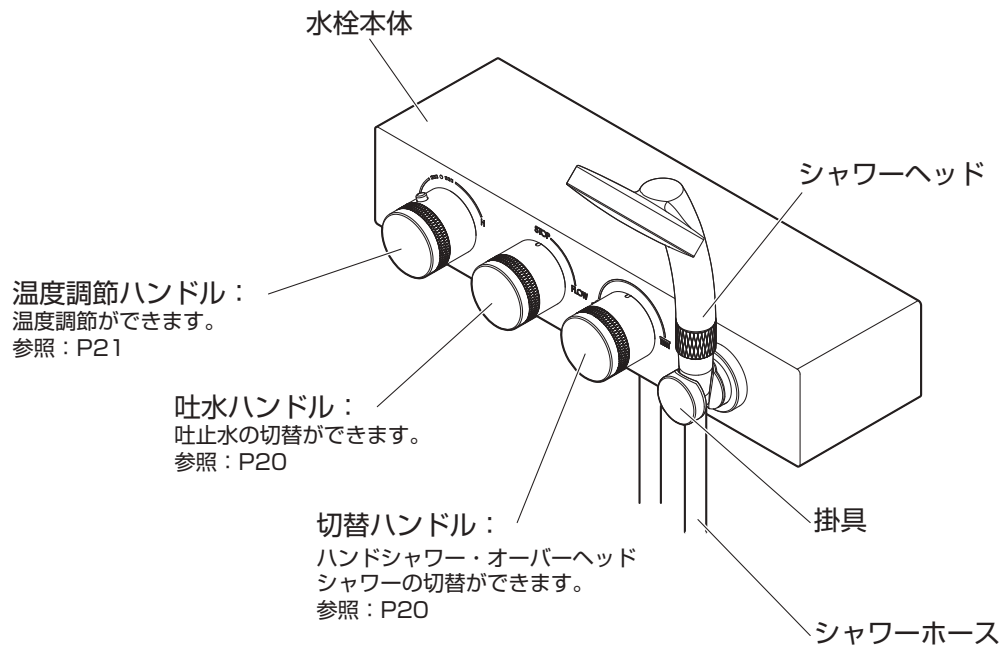
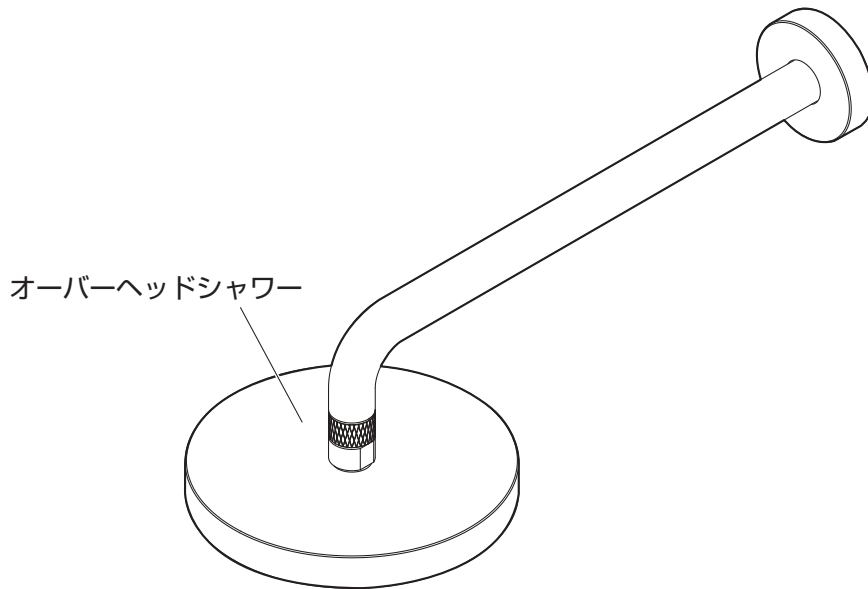
保証とアフターサービス

保証とアフターサービス …………… 30

保証書 …………… 裏紙





本製品について 各部の名称

- 本製品は、ハンドルで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。



- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）  「分解してはいけません！」  「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

注意



修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。



ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナをゆるめずに、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P25



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



湯水を逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをする事があります。



給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。
85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。



凍結が予想される地域には、取付けしないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



強度のある壁・建築構造体に取付け、**下地の厚みや補強が十分にある事**を確認してください。
石膏ボード壁などの強度のない壁に取付けると、取付部がはずれ、落下・けが・水漏れの原因になります。

⚠️ 注意



取付完了後、製品にガタツキがない事を確認してください。
製品にガタツキがあると、落下・けが・破損の原因になります。



水に濡れるおそれがある箇所に施工する場合は、防水加工を行ってください。
水に濡れると、取付部がはずれ、落下・けが・破損の原因になります。
また、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ハンドルを持って持ち上げないでください。
故障や水漏れの原因になります。



目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調整を行ってください。
使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをする事があります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧（流動時）	最高使用水圧（静止時）
	0.15MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.4MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は必ず給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.15MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10度以上高く設定してください。
設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数（能力）が必要です。
四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力16号以上をおすすめします。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅・公共施設用

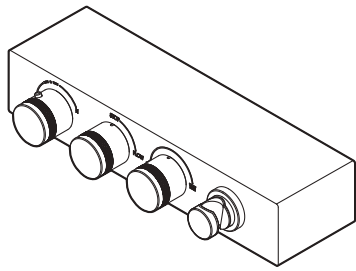
施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

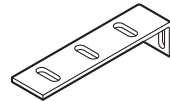
施工について 梱包明細

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

本体 ×1



施工ステー ×2

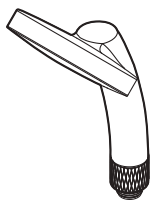


タッピンねじ4本入(袋入) ×1

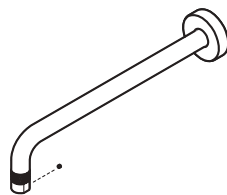
施工ステーを壁に固定するためのねじです。



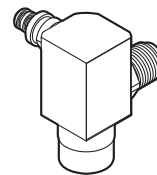
シャワーヘッド ×1



オーバーヘッドシャワーパイプ ×1
六角穴付き止めねじ ×1



偏心管 ×2



六角穴付きボルト6本入(袋入) ×1

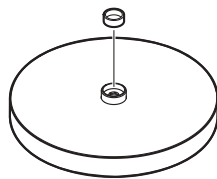
本体を施工ステーに固定するためのボルトです。



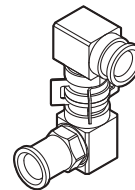
シャワーホース ×1



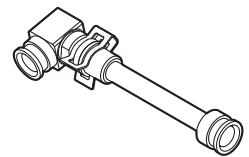
オーバーヘッドシャワー ×1
パッキン ×1



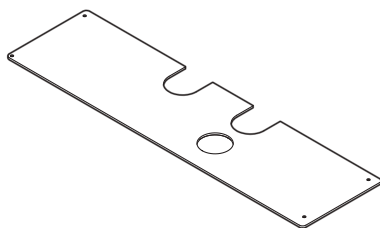
接続管(水側) ×1



接続管(湯側) ×1



底板 ×1



クイックファスナー ×4



なべ小ねじ 4本入(袋入) ×1

底板を本体に取付けるためのビスです。



●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

主な工具類

■ 接続アダプター(別売)

オーバーヘッドシャワー配管の接続に必要な場合は別途ご準備ください。

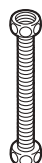


【参考】

SANEI品番：T20-13
ねじ本体側：G1/2
ねじ壁側：R1/2
ナット対辺：21mm

■ フレキチューブ(別売)

オーバーヘッドシャワー配管の接続に必要な場合は別途ご準備ください。

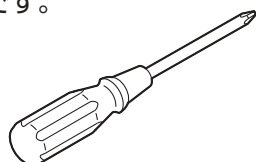


【参考】

SANEI品番：T15B-13X100-A
長さ：100mm
ねじ：G1/2
曲げR：R40以上

■ プラスドライバー：

底板の固定の際に必要です。



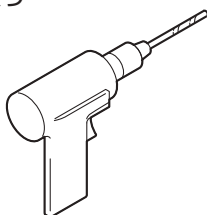
■ 六角レンチ：

本体を施工ステーに固定する際に必要です。



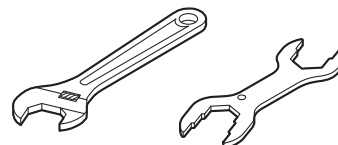
■ 電動ドリル：

壁がコンクリートやタイル張りの場合に必要です。



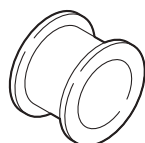
■ スパナ・モンキーレンチなど：

逆止弁、フレキチューブ、接続アダプターのナットが回せる工具。



■ シールテープ：

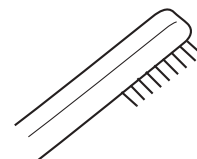
接続アダプターを壁に取付ける際に必要です。



SANEI品番：PP75-1S
(シールテープ)

■ 使い古しのハブラシなど：

配管掃除ができるもの。



■ ぞうきんなど：

配管中の残り水を拭くのに使用します。



■ タオルなど：

ケガ防止や水栓保護のために使用します。



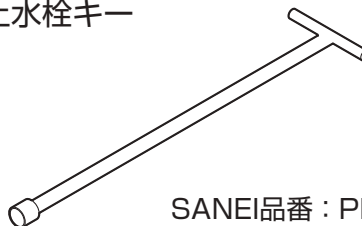
■ 手袋：

ケガ防止のために着用してください。



元栓がキー式の場合に必要な工具(参照：P10)

■ 止水栓キー



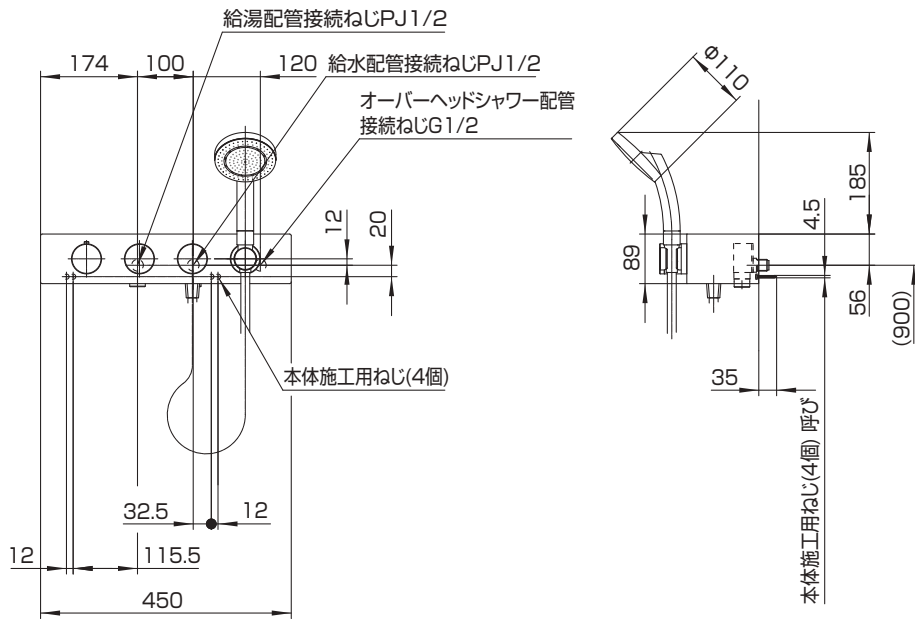
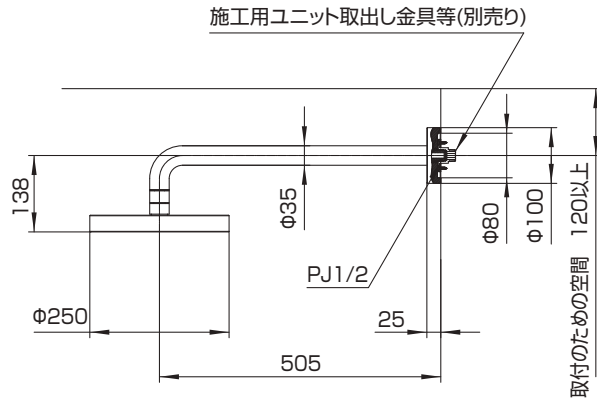
SANEI品番：PR30A
(止水栓キー)

1 寸法図の確認・配管・施工ステーの施工位置の決定

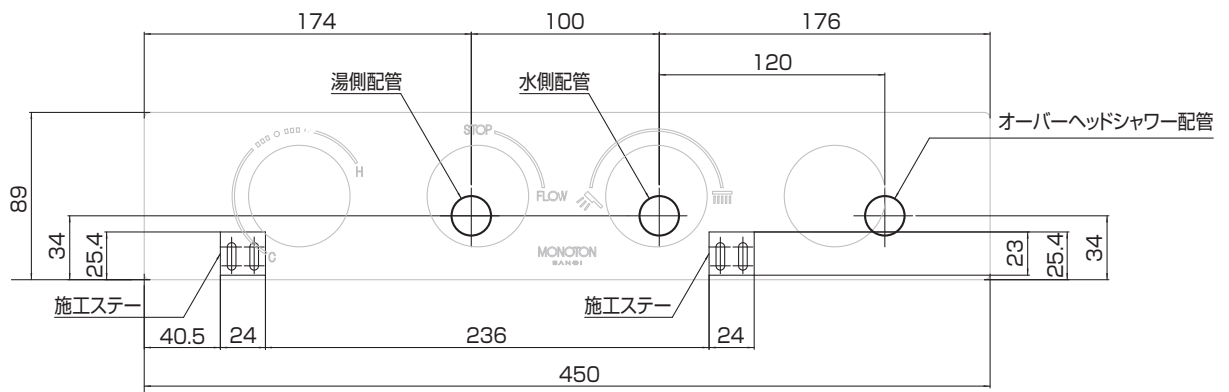
施工の前に、下記寸法図を必ずご確認ください、適切な施工位置を決定してください。
 ※寸法は参考値となります

寸法図

品番	色
SK9881-1S-DJP-13	漆黒
SK9881-1S-WJP-13	白練



配管位置(湯側・水側・オーバーヘッドシャワー)・施工ステー位置



2 配管内の掃除

注意



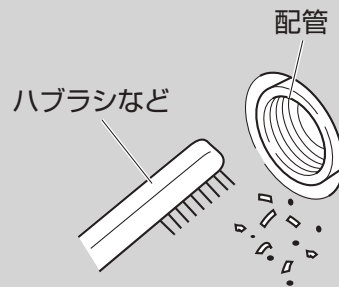
配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(元栓の開閉は下記を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

この場合には有償修理となります。



●元栓を閉めて、水を止める方法

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。

※一部の地域では左回しの場合があります。

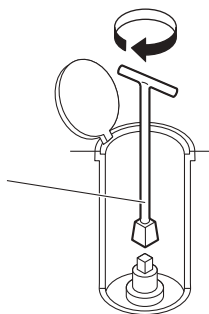
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの元栓ボックス：

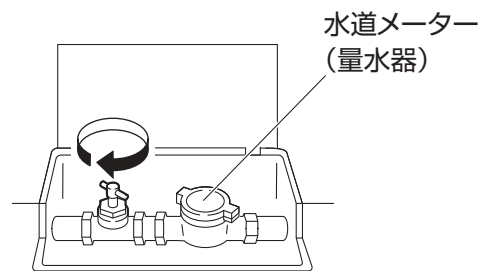
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあつたりします。

●キー式

止水栓キー
SANEI品番：
PR30A
(止水栓キー)

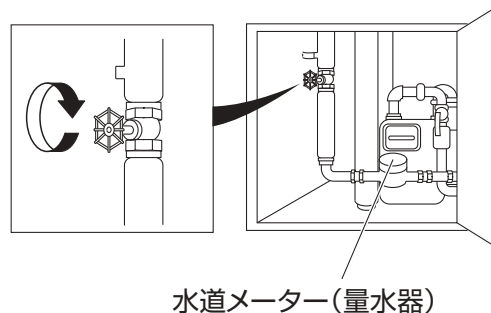


●ハンドル式



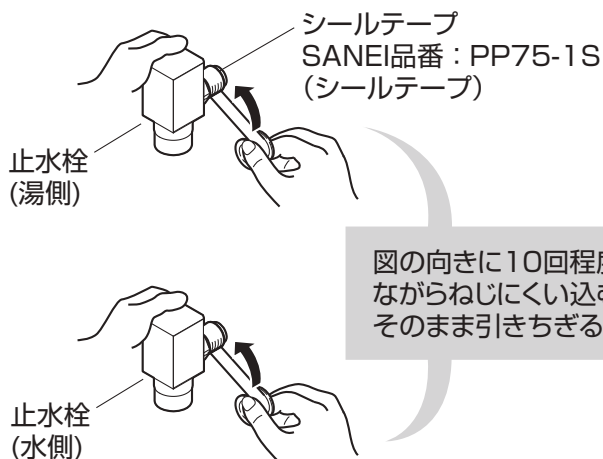
■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、
電気やガスのメーターと共に水道メーターと
元栓があります。
お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわか
らない場合は、水道料金の検針票などでご自分
の水道メーター番号を確認してください。



3 偏心管の取付け

(1) 偏心管にシールテープを巻きます。



アドバイス

シールテープをねじ全体に巻く必要はありません。シールテープ幅に合わせて巻付けてください。

シールテープ幅

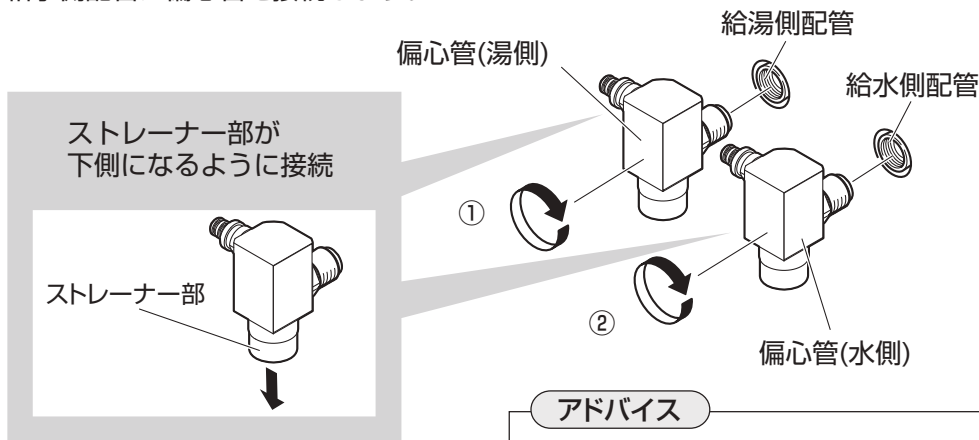
図の向きに10回程度、引っ張りながらねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎる。

注意

シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

(2) 偏心管を接続します。

- ① 給湯側配管に偏心管を接続します。
- ② 給水側配管に偏心管を接続します。



アドバイス

上から見た図

壁

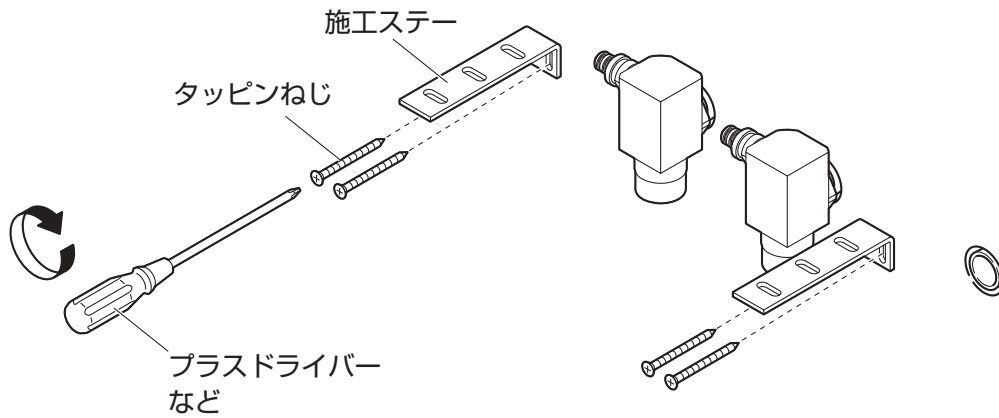
左右の偏心管の壁からの飛び出し量が同じになるようにしてください。

注意

- 偏心管は給湯側を先に取付けてください。給水側を先に取付けると、給湯側取付け時に偏心管同士が接触するおそれがあります。
- 偏心管は絶対に逆方へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は、手順(1)をもう一度はじめから行ってください。
- 偏心管のニップル部を工具等で傷つけないよう注意してください。
- 左右の偏心管の壁からの飛び出し量が同じになるようにしてください。
- 施工後、偏心管接続部からの水漏れ確認を推奨します。

4 施工ステーの取付け

- (1) 手順 ① で確認した湯水配管位置・施工ステー取付位置を参考に、プラスドライバーや電動ドリルなどを用いて、施工ステーを壁に取付けます。



⚠ 注意

- 施工ステーは、必ず水平になるように取付けてください。本体の取付けが不安定になり、落下してケガをするおそれがあります。
- 水に濡れるおそれがある箇所に施工する場合は、防水加工を行ってください。水に濡れると、取付部がはずれ、落下・けが・破損の原因になります。また、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

壁がコンクリートやタイル張りの場合は、壁に穴を開けて市販のアンカープラグを差し込んでください。

電動ドリルなどで下穴を開けてください。
(壁がコンクリートやタイル張りの場合は、超硬ドリルをご使用ください。)

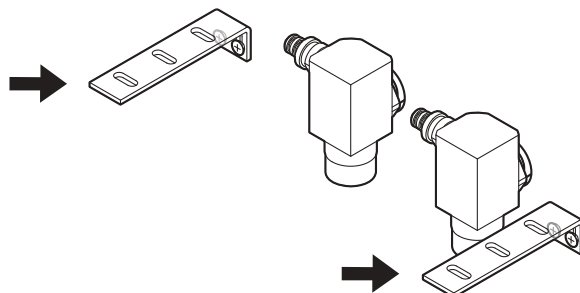


※下穴は、手順 ① で確認した湯水配管位置・施工ステー取付位置を参考に、正しい位置に空けてください。



※アンカープラグは、当社のタッピンねじ(4.5×35)に対応するものをご使用ください。

- (2) 施工ステーが確実に取付けられていることを確認してください。



5 接続管の取付け

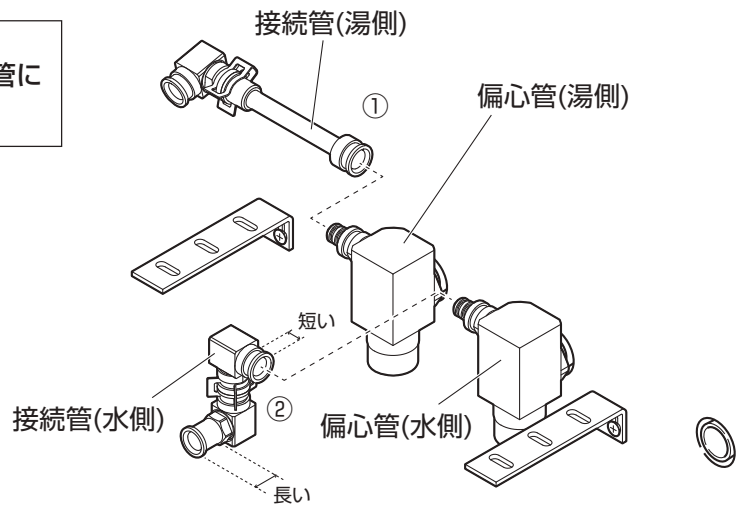
(1) 接続管を偏心管に取付けます。

- ① 偏心管(湯側)に接続管(湯側)を接続
- ② 偏心管(水側)に接続管(水側)を接続

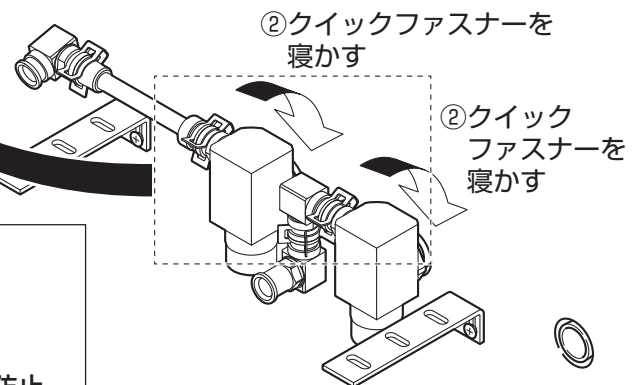
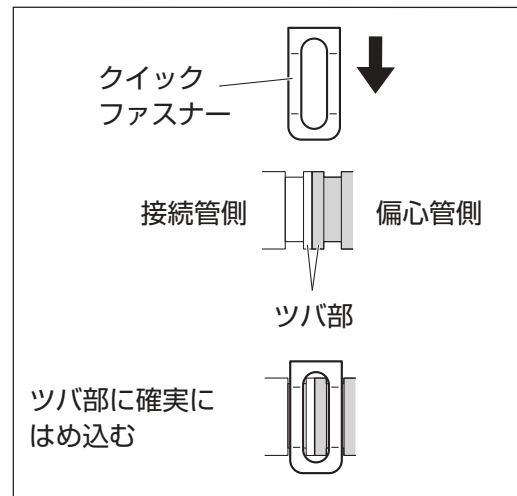
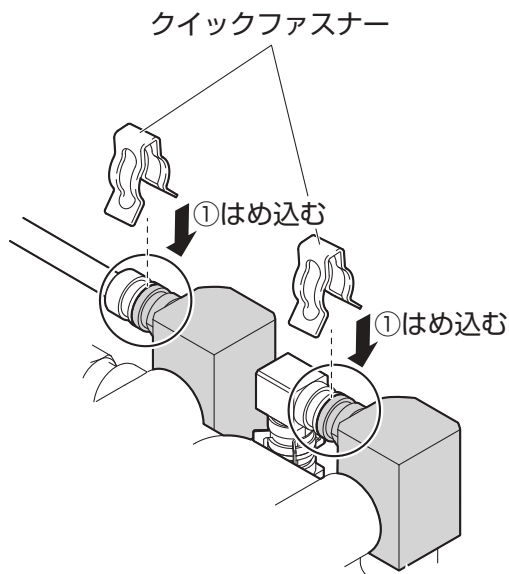


注意

接続管(水側)は接続部の短い方を偏心管に取付けてください。



(2) クイックファスナーを接続管と偏心管のツバ部に確実にはめ込んでください。

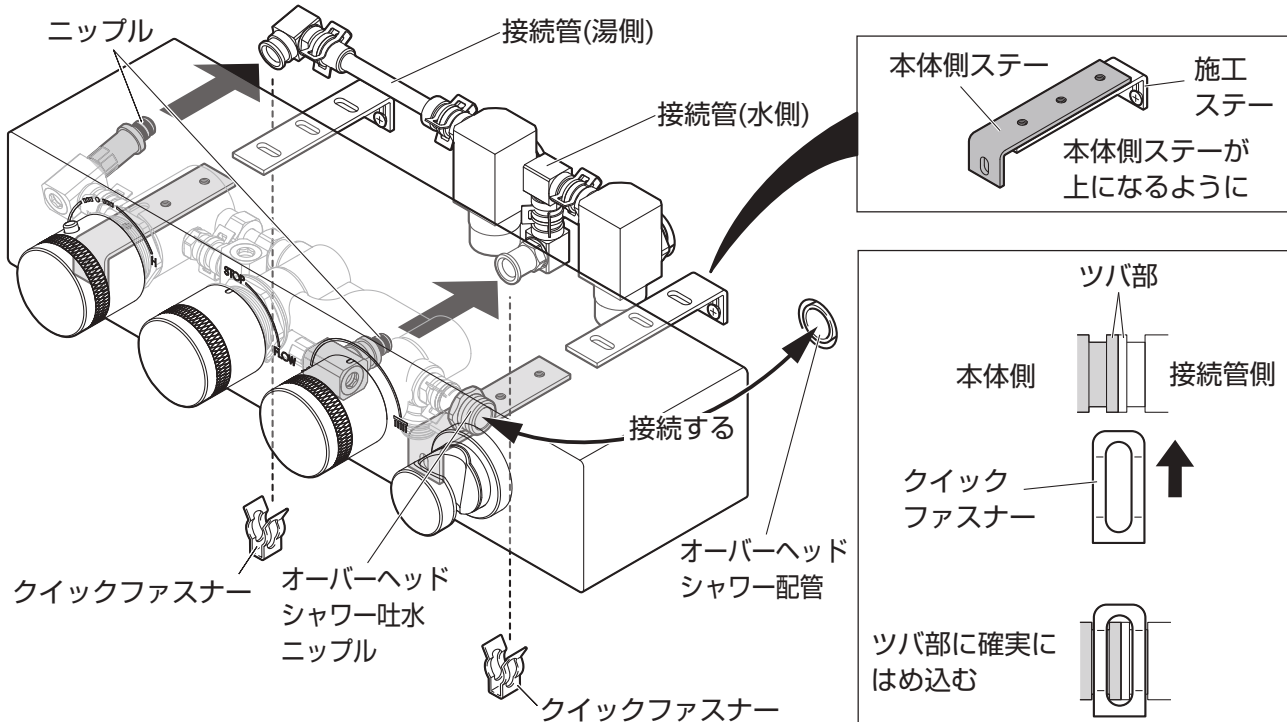


注意

- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 取付けたクイックファスナーは、本体内部との干渉防止のため、寝かせてください。
- 本体を左右に動かして抜けないことを確認してください。

6 本体の取付け

- (1) 本体側ステーを施工ステーに乗せながら、本体側のニップルを接続管(湯側・水側)に接続し、クイックファスナーを本体下側からツバ部に確実にはめ込みます。
 - (2) 接続したニップルのツバ部に下側からクイックファスナーを取付けます。
- ※準備いただいた接続アダプター、フレキチューブでオーバーヘッドシャワー吐水ニップルとオーバーヘッドシャワー配管を接続してください。

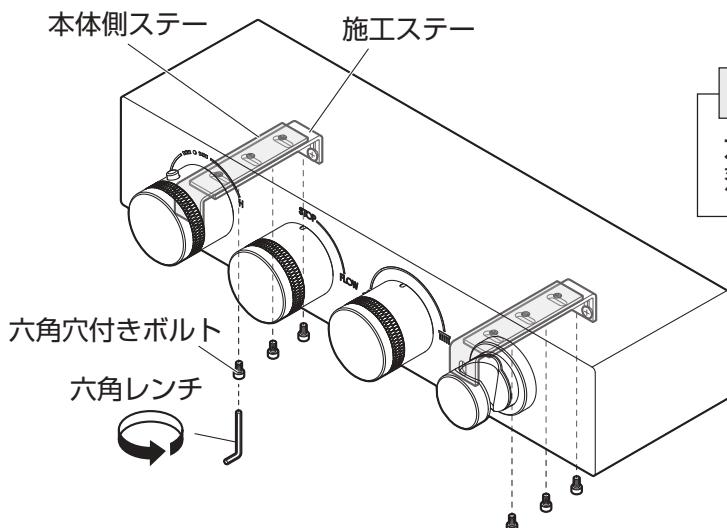


⚠ 注意

- 接続時に本体を落とさないように注意してください。
- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 本体を左右に動かして抜けないことを確認してください。

7 本体の固定

本体側ステーと施工ステーの穴位置を合わせ、下側から六角穴付きボルトで締め付けて固定します。

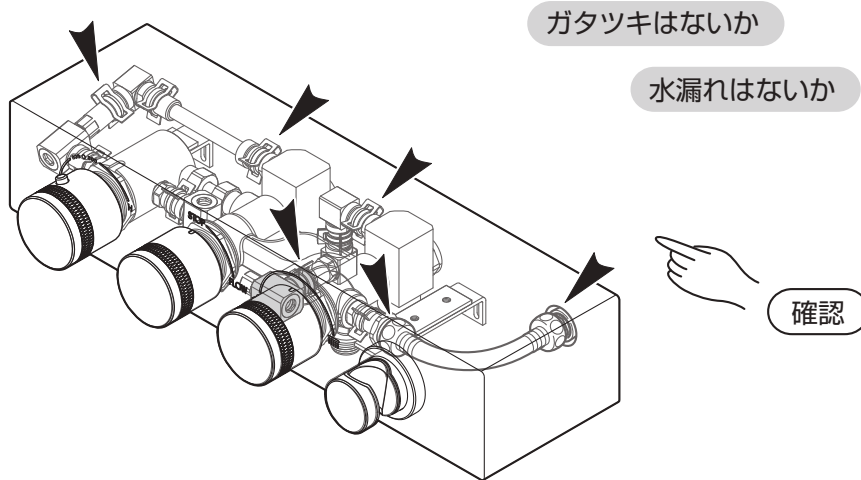


⚠ 注意

六角穴付きボルトはしっかり固定してください。落下による破損・けがのおそれがあります。

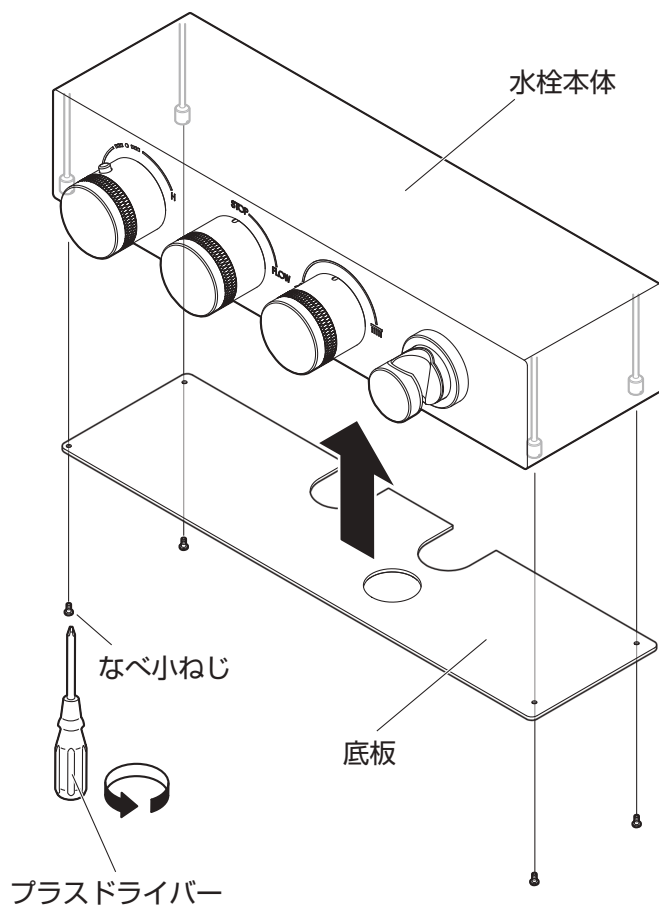
8 水漏れ・ガタツキチェック

接続部にガタツキがないことを確認後、止水栓を開いて水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、**6** 本体の取付けをやり直してください。



9 底板の取付け

水栓本体下側に底板を取付けます。偏心管の流量調節部とシャワーホース接続部が底板から見えるように位置を調整し、底板の四隅を止めねじで締め付けます。



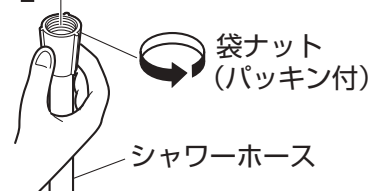
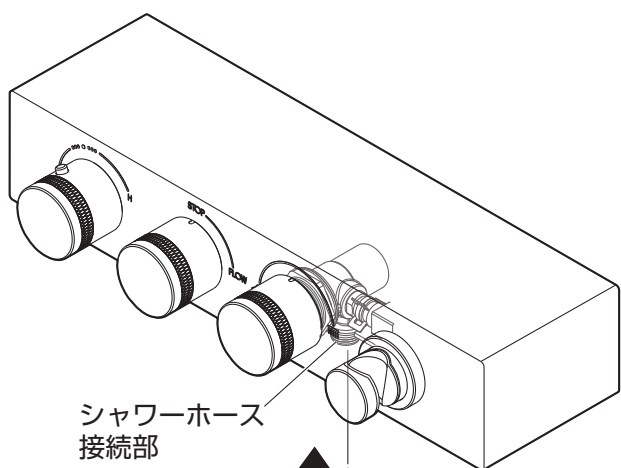
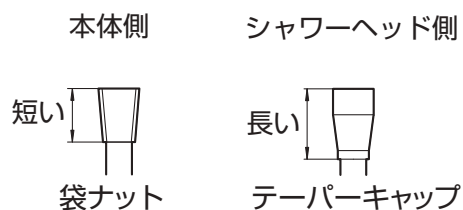
注意

底板落下による破損・けがのおそれがありますので
確実に取付けてください。

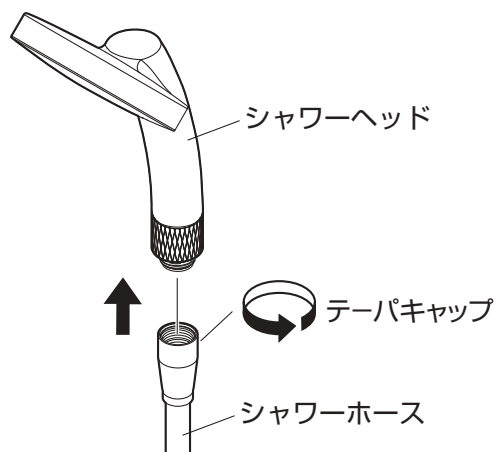
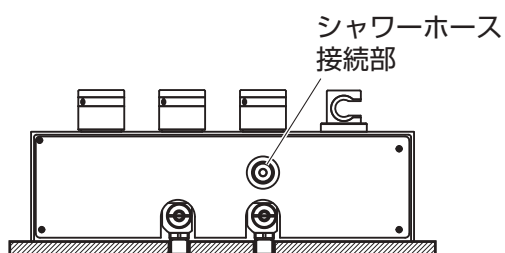
10 シャワーホース・シャワーヘッドの取付け

シャワーホース・シャワーヘッドを取付けます。

- シャワーホースの袋ナットは本体側に、テーパキャップはシャワーヘッドを取付けます。
- 本体側の袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。

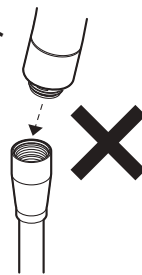


■下側から見た製品本体

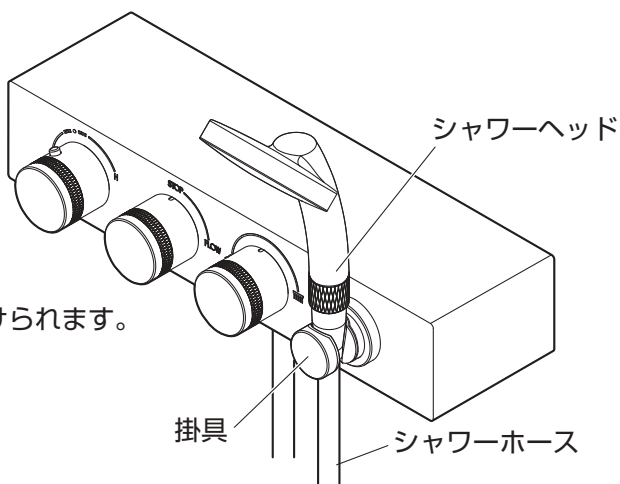


⚠ 注意

- シャワーヘッド・袋ナット・テーパキャップは手でまっすぐにねじ込んでください。工具を使用したり、斜めにねじ込むとネジ山が潰れ、接続できない場合があります。
- ホースのパッキンが入っている方を、本体に取付けてください。

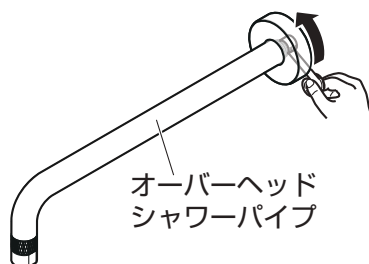


■シャワーヘッドは掛具にかけられます。



11 オーバーヘッドシャワーの取付け

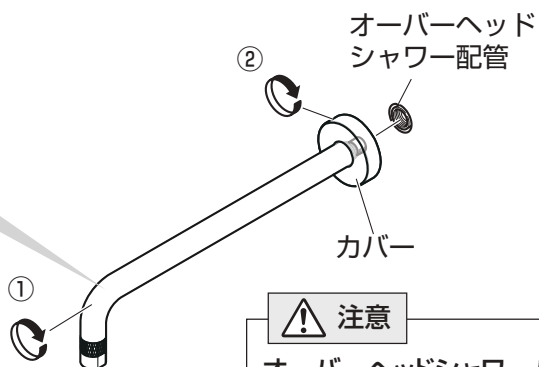
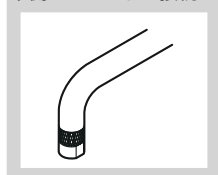
(1) オーバーヘッドシャワーパイプのネジ部にシールテープを巻きます。



(2) オーバーヘッドシャワーパイプをオーバーヘッドシャワー配管に接続します。

- ① オーバーヘッドシャワーパイプを配管にねじ込みます。
- ② オーバーヘッドシャワーを取付けたら、カバーを壁面に合うように締め込みます。

シャワーヘッド接続部が下側になるように接続

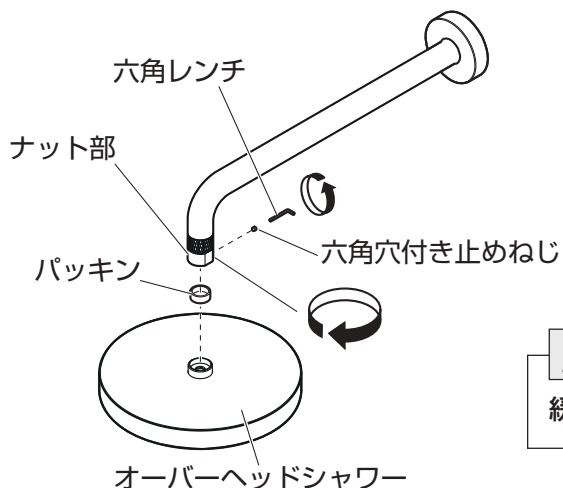


⚠ 注意

オーバーヘッドシャワーパイプは絶対に逆方へゆるめないでください。
もしもゆるめてしまった場合は、手順(1)をもう一度はじめから行ってください。

(3) オーバーヘッドシャワーをオーバーヘッドシャワーパイプに取付けます。

- ① パッキンをオーバーヘッドシャワーに取付け、パイプのナット部をオーバーヘッドシャワーに締め込みます。
- ② 六角穴付き止めねじを取付けてオーバーヘッドシャワーを固定します。



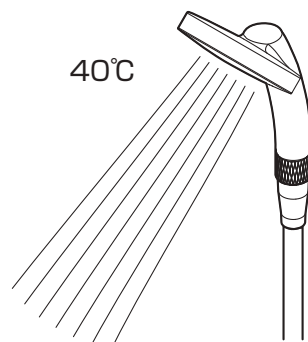
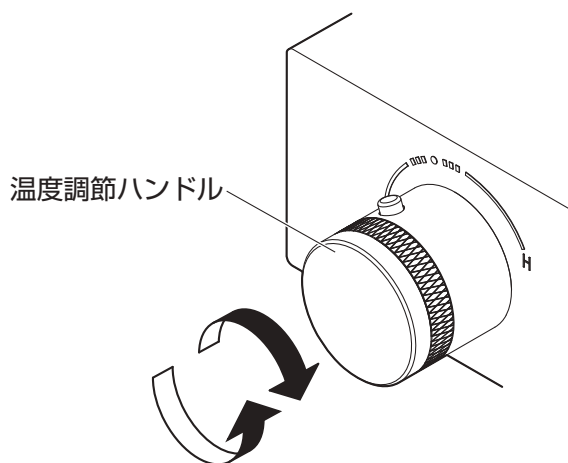
⚠ 注意

緩みがないように、確実に取付けてください。

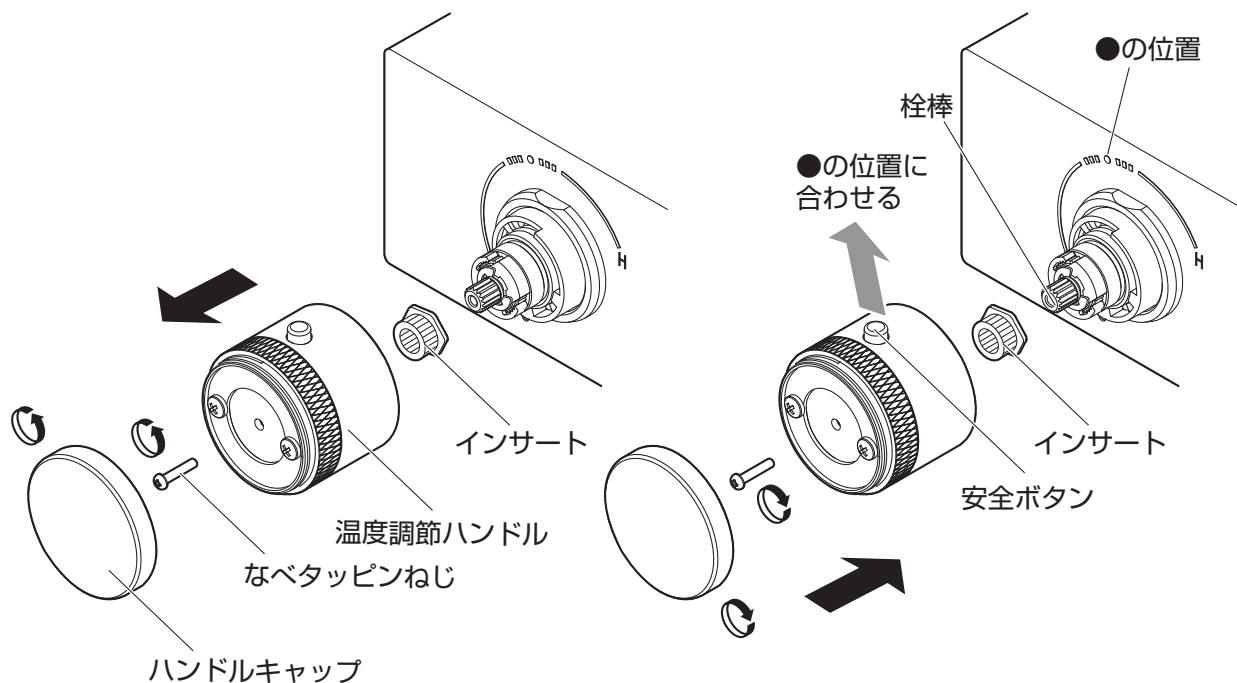
12 温度調節ハンドルの設定

温度調節部は工場出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の設定を行ってください。

- 1 給湯機の給湯温度を設定します。
給湯温度の設定については P21 を参照してください。
- 2 温度調節ハンドルの目盛と関係なく吐水温度が適温（およそ40℃）になるように回します。








- 3 吐水温度が適温（およそ40℃）になる位置で温度調節ハンドルをはずします。
- 4 安全ボタンを●の位置に合わせて、温度調節ハンドルを取付けます。



- (注) ●温度調節ハンドルを取付ける時、栓棒を回さないようにしてください。
●本体の目盛は目安としてご使用ください。
●温度調節ハンドル取付け後、温度調節ハンドルを水側へ全開に回し、給湯機が着火しないことを確認してください。
着火する場合は、吐水温度を下げて再度、温度調節ハンドルを取付けてください。
●部品をなくさないように注意してください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

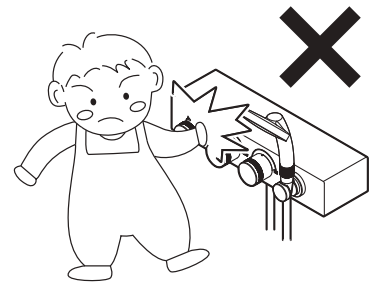
用語および記号の説明

- 警告** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」(上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
-  …………… 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
-  …………… 「分解してはいけません!」
-  …………… 「指示した場所に触れてはいけません!」
-  …………… 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

警告



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。



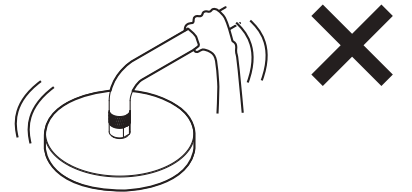
注意



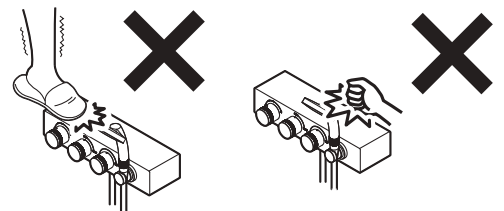
使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。



オーバーヘッドシャワーやパイプにぶら下がったり
強い力や衝撃を与えないでください。
取付部が破損し、けがや水漏れの原因になります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。

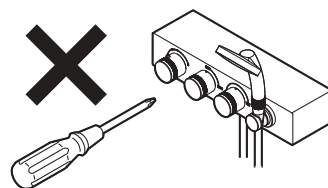


⚠️ 注意



分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。

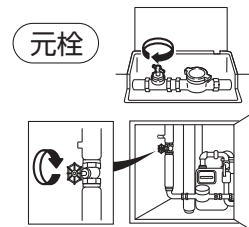
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナをゆるめずに、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。

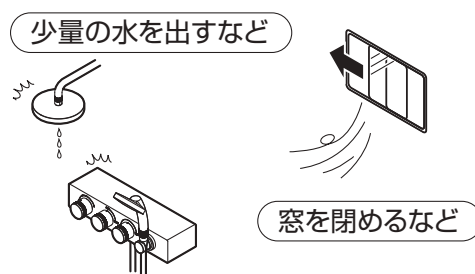
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

参照：P25



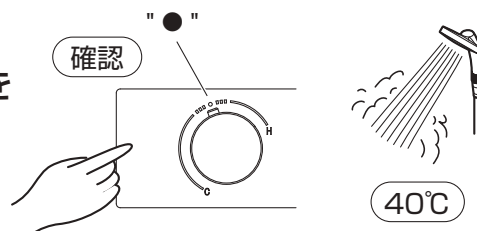
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照：P22



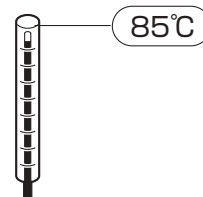
凍結した場合は温度調節ハンドルの目盛り "●" で吐水温度が40℃となっていることを確認してください。

凍結すると本体内の部品が破損し、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。



(給湯器の設定温度について)
給湯温度は最高85℃まででお使いください。

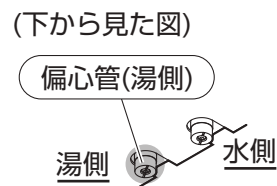
85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。



高温の湯をお使いのときは、下記の部位に直接肌を触れないでください。

■ 偏心管(湯側)

高温になっているのでやけどをするおそれがあります。



湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。

次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



⚠️ 注意



シャワーホースやシャワーヘッドを洗面器などに浸けたまま放置しないでください。汚水が器具に逆流するおそれがあります。

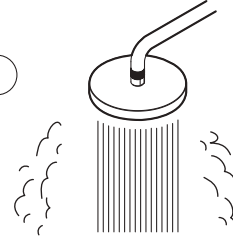


シャワーには高温の湯（60℃以上）を通さないでください。給湯温度が60℃以上の場合は、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。部品が破損して、やけどをするおそれがあります。安全のため、適温でのご使用をおすすめします。

60℃以上



60℃以上

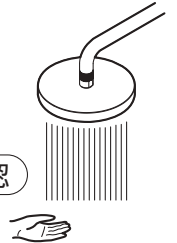


シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

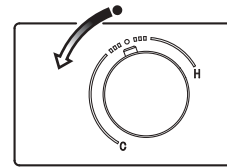
確認



確認



高温の湯をお使いの後は必ず温度を40℃以下に戻してください。次に使用する場合、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水漏れ



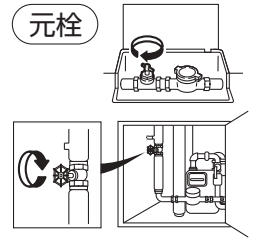
長期間使用しない時は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。

流量調節栓

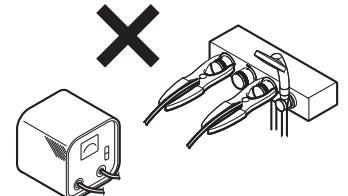
水側

元栓

湯側



解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



⚠️ 注意

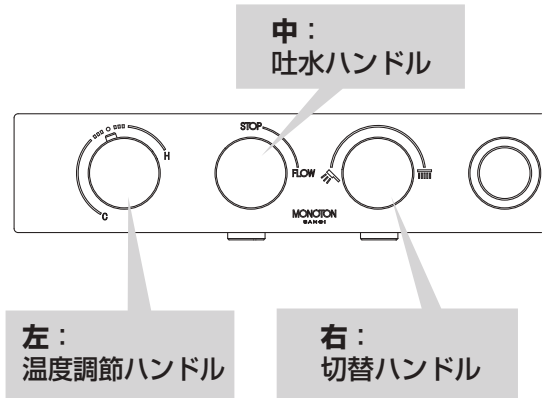


本製品にはハンドルが3つあります。
ご使用前にどのハンドルが確認して
ください。

ハンドルを間違えた場合、意図しない
箇所から吐水し、不意に水をかぶったり、
やけどをするおそれがあります。



確認

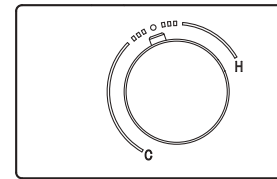


温度調節ハンドルの温度位置を確かめて
吐水してください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



確認



お使いになる前に、オーバーヘッドシャワー
側かシャワーヘッド側かを切替ハンドルで
確認してから湯をお使いください。

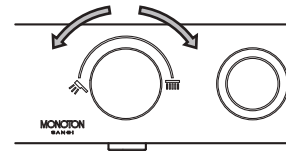
間違えると、やけどをするおそれがあります。

確認



シャワーヘッド

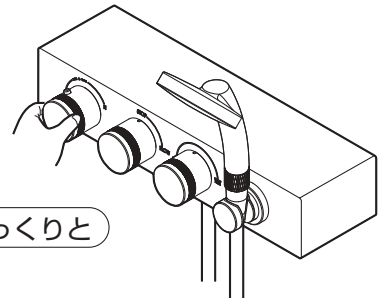
オーバーヘッド
シャワー



温度調節ハンドルは、ゆっくり回してくだ
さい。

温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、や
けどをするおそれがあります。

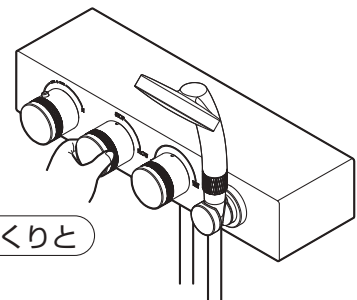
ゆっくりと



吐水ハンドル・切替ハンドルは、ゆっくり
回してください。

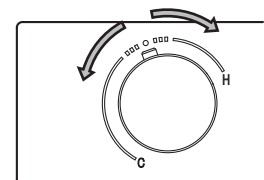
吐水ハンドル・切替ハンドルを急に閉めると、配管に
衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害
発生のおそれがあります。

ゆっくりと



日頃から、ときどき温度調節ハンドルを
回してください。

温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に
水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれ
があります。



ご使用について

シャワーヘッド・オーバーヘッドシャワーの切替え・流量調節

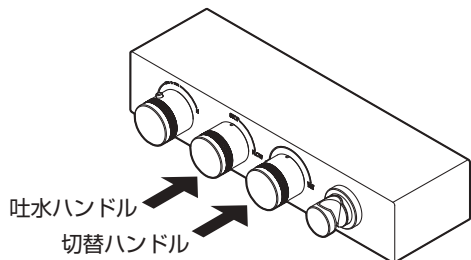
ハンドルで吐水・止水・温度調節ができます。

吐止水の切替え

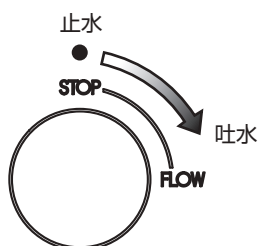
吐水ハンドルを右へ回す → 吐水
吐水ハンドルを左へ回す → 止水

シャワーの切替え

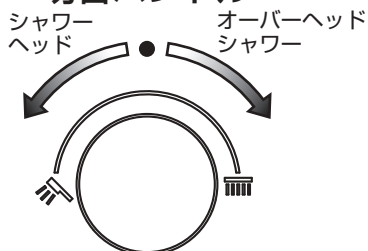
切替ハンドルを右へ回す → オーバーヘッドシャワー
切替ハンドルを左へ回す → シャワーヘッド



吐水ハンドル



切替ハンドル



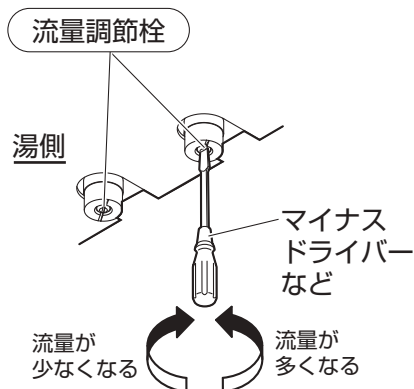
注意

- 切替ハンドルは全開でご利用ください。
- 流量を調節する場合は、流量調節栓で調節してください。
- シャワーヘッドは手で持って使用してください。

流量調節

ドライバーで回す事により流量を調節したり、配管からの水を止める事ができます。

(下から見た図)



マイナスドライバーなどで流量調節栓を回します。

注意

止水後、オーバーヘッドシャワー・シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事があります。これはシャワー内部の残留水であり、一定時間だけの現象であれば異常ではありません。水滴が落ちる要因は、落ちる位置によって異なります。(下表参照) シャワーヘッドの場合は、それぞれの現象に合った対処を行ってください。

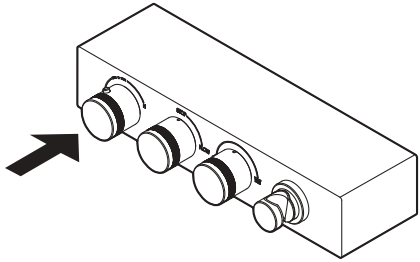
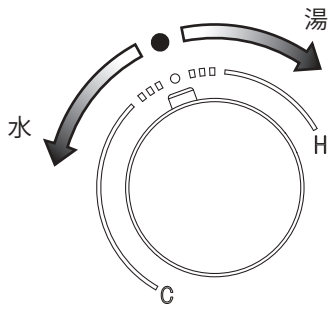
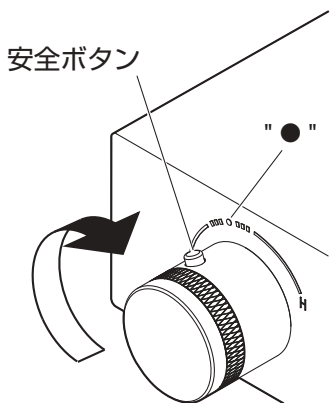
水滴の落ちる位置	考えられる要因	対処(シャワーヘッドのみ)
	使用後の水がシャワ散水板の表面張力により滞留しています。振動や浴室ドアの開閉による気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出ることがあります。 (気圧の変化など)	シャワーヘッドをよく振る
	シャワーヘッドを浴槽や洗面器に浸けるなどすると、シャワーヘッドの隙間から水が浸入することがあります。この水が外装部の隙間から流れ出ることがあります。 (水の浸入)	シャワーヘッドをよく振る

ご使用について 温度調節

■ 給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度は、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃設定をおすすめします。

給湯機の設定温度が優先されるため、設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
 ※本製品はやけど防止のため、安全ボタンを押してH最大まで回しても水が混ざる構造となっており、H最大まで回しても給湯機の設定温度より低温の湯が出ます。

設定・調整作業は承っておりますが、有料作業となります。
 （作業費として、「技術料」+「部品代」+「出張料」を請求させていただきます。）
 実作業を伴わずに復旧した場合は、「出張料」のみの請求となります。

温度調節	高温の使用
 <p>温度調節ハンドルを左へ回す → 水 温度調節ハンドルを右へ回す → 温度が上がる</p> 	<p>安全ボタンを押して回す</p>  <div data-bbox="752 1108 1411 1332"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全ボタンを押さずに回すと器具を破損するおそれがあります。 ●高温の湯を使用した後は必ず、温度調節ハンドルを"●"よりも左に戻してしばらく水を流してください。 </div>

高温の湯が出ないときは？


レバーを湯側にまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側のレバーを湯側にまわしてください。

<p>給湯 40℃</p> <p>運転入/切 風呂自動 優先</p>	→	<p>給湯 60℃</p> <p>運転入/切 風呂自動 優先</p>
--	---	--

注意

高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとレバーで適温に戻してしばらく水を流してください。

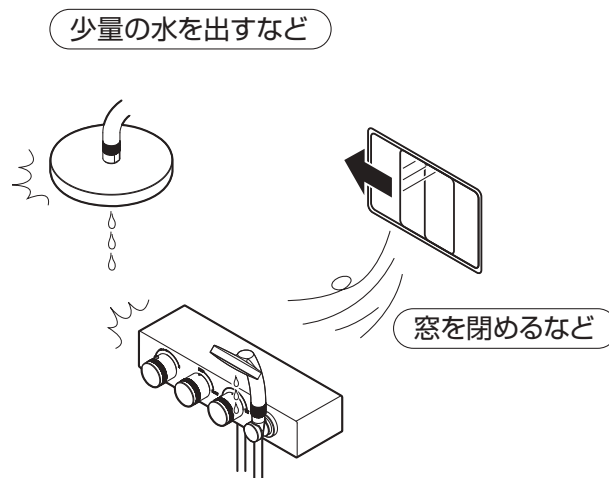
（注）水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。
 この場合には、水栓側のレバーを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。



ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
 - 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

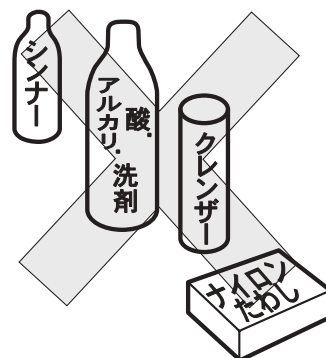
⚠️ 注意



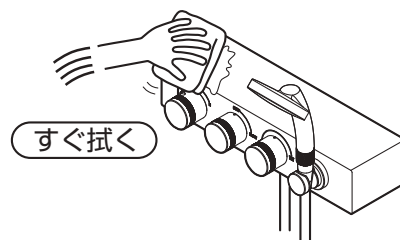
本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

使用してはいけないもの

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど



洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。



本製品は、強くこすると、色落ちしたり、表面素材が剥がれるおそれがあります。

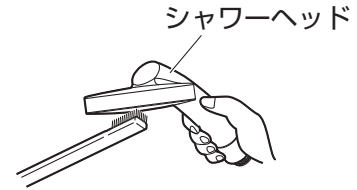
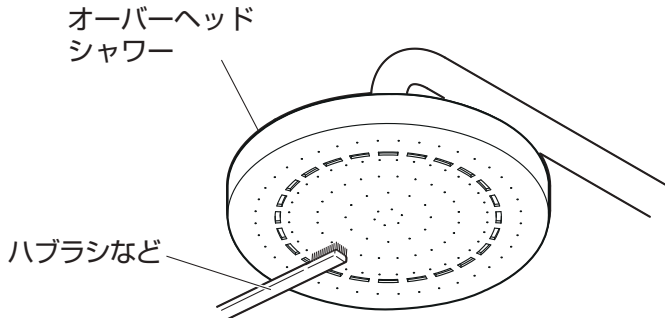
日頃のお手入れ

オーバーヘッドシャワー・シャワーヘッドの掃除

オーバーヘッドシャワー・シャワーヘッドの汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

(近所で水道工事があつたり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- シャワー板部分をハブラシなどで掃除してください。



シャワー板の穴がつまり、水流が乱れたり出にくくなった場合は、シャワーヘッドをホースから取りはずして歯ブラシなどで掃除してください。本体内にゴミが残らないように水で洗い流してください。

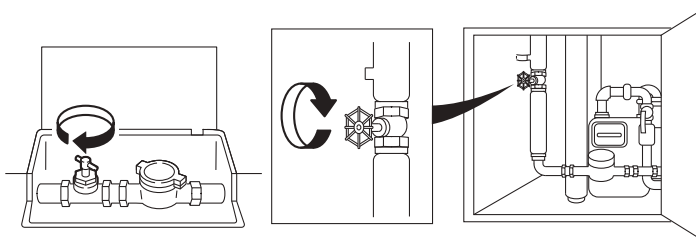
⚠ 注意

- 表面を傷つけないように注意して掃除してください。
- シャワー板の目詰まりにより、散水不良が発生してきた場合は、器具の破損につながります。部品のお取替えも検討して頂くようお願いします。(この場合は有償修理となります。)

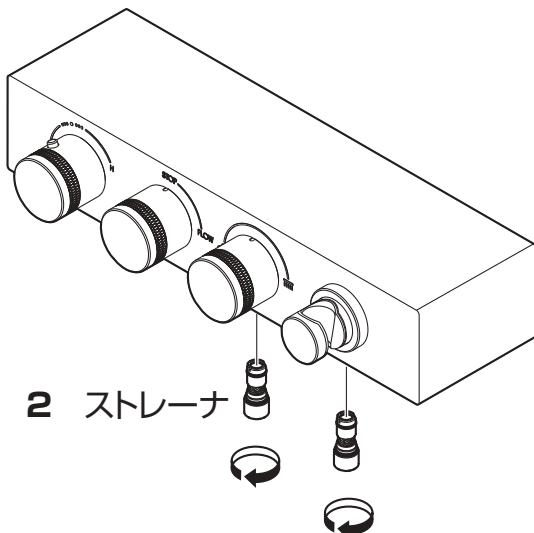
日頃のお手入れ

ストレーナーの掃除

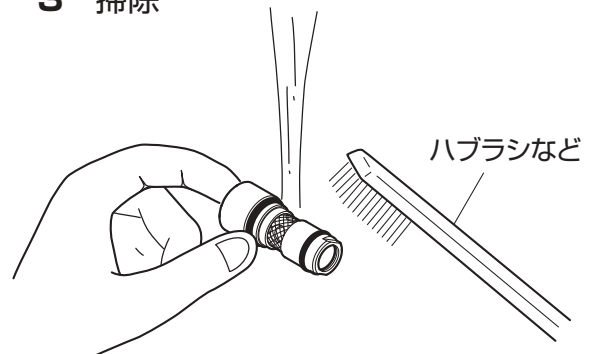
- 1 元栓を閉めます。
- 2 ストレーナをはずします。
※はずしにくい場合は、ゴム手袋などを使用してはずしてください。
- 3 ハブラシなどでストレーナーの網部分を掃除します。



1 元栓



3 掃除



定期的な点検

可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。温度調節ハンドル・流量調節栓の点検については下記を参照ください。

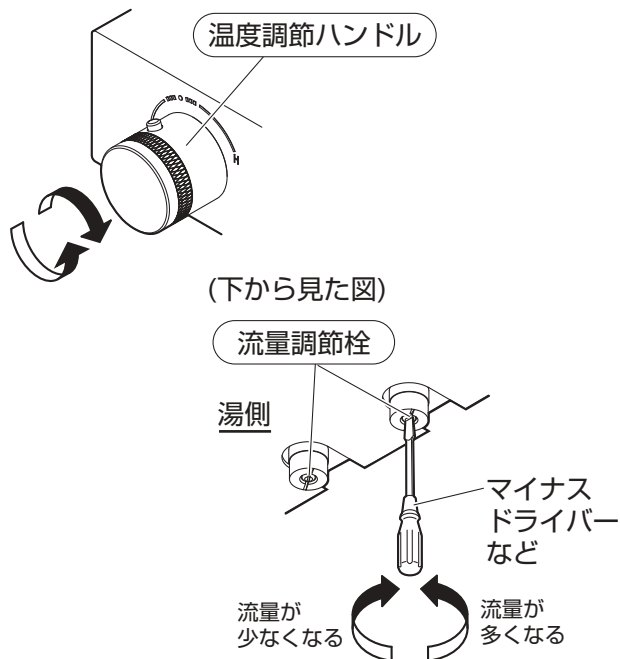
日頃から、ときどき温度調節ハンドル・流量調節栓を動かしてください。
(月1回を目安)

流量調節栓を回す際は設定位置を確認し、回した後に元の位置に戻してください。参照：P20

温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

流量調節栓を長期間動かさずに使用すると水あかなどが付着し、無理に動かそうとすると、水漏れ・異音の発生・破損の原因になります。

温度調節ハンドル・流量調節栓が動かなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。



定期的な点検

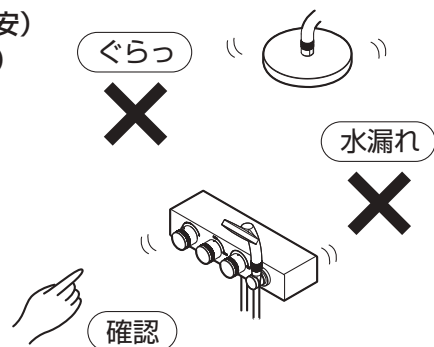
配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的な、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

定期的な、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。



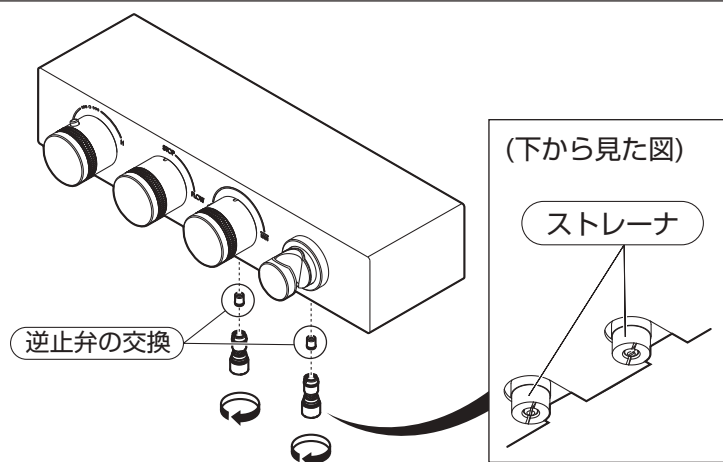
定期的な点検

逆止弁の交換時期

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※逆止弁の交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。



こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
シャワーヘッドから水が漏れる	シャワーヘッドに水がたまっていますか。	シャワーヘッドをよく振ってください。 参照：P20
流量が少ない	流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。 参照：P24
	ゴミづまりはありませんか。	オーバーヘッドシャワー・ストレーナの掃除をする。 参照：P23
高温しかでない	水側の流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。 参照：P24
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：P21
	湯側の流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。 参照：P24
温度調節がうまくできない	湯側・水側の流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。 参照：P22
	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：P21
	ゴミづまりはありませんか。	オーバーヘッドシャワー・ストレーナの掃除をする。 参照：P23
	温度調節ハンドルの設定は合っていますか。	温度調節ハンドルの設定を確認する。 参照：P15 12

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びハンドル部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所を交換してください。ハンドルからの水漏れの場合は、止水切替カートリッジ及びサーモカートリッジを交換してください。 参照：P26
止水してもシャワーヘッドから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。止水切替カートリッジを交換してください。 参照：P26
シャワホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワホースを交換してください。 参照：P26

漏水した場合の処置

漏水した場合は、配管中の元栓を閉めてください。

元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。

※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。

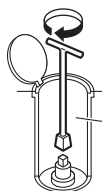
※一部の地域では左まわしの場合があります。

※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの元栓ボックス：

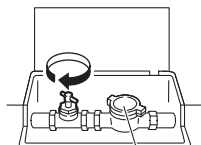
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式



止水栓キー
SANEI品番：
PR30A
(止水栓キー)

●ハンドル式

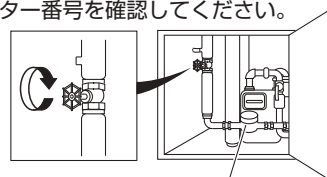


水道メーター
(量水器)

■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。

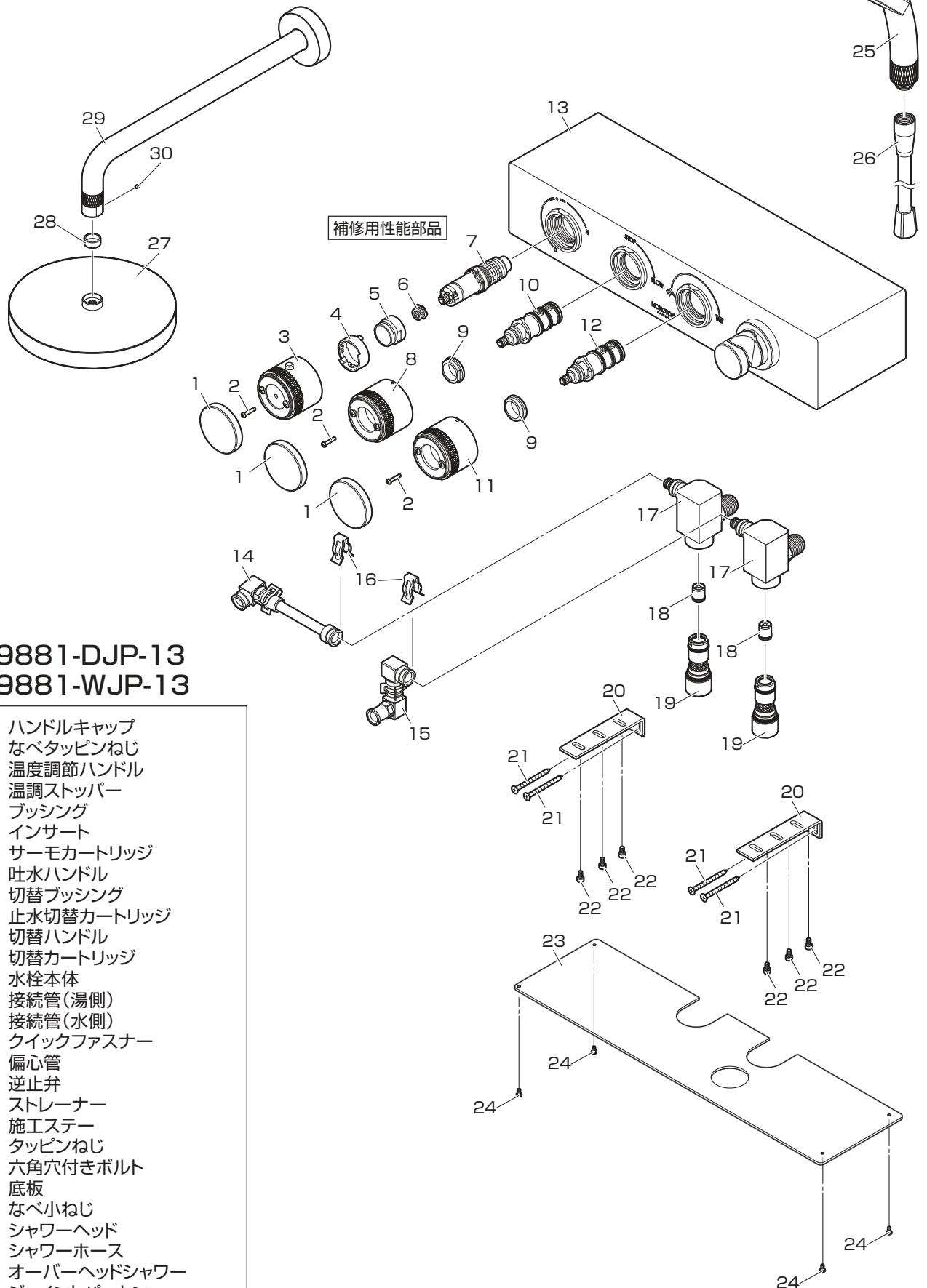
お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



水道メーター（量水器）

こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。
構造をご理解いただくのにご使用ください。



SK9881-DJP-13
SK9881-WJP-13

1. ハンドルキャップ
2. なべタッピンねじ
3. 温度調節ハンドル
4. 温調ストッパー
5. プッシング
6. インサート
7. サーモカートリッジ
8. 吐水ハンドル
9. 切替プッシング
10. 止水切替カートリッジ
11. 切替ハンドル
12. 切替カートリッジ
13. 水栓本体
14. 接続管(湯側)
15. 接続管(水側)
16. クイックファスナー
17. 偏心管
18. 逆止弁
19. ストレーナー
20. 施工ステー
21. タッピンねじ
22. 六角穴付きボルト
23. 底板
24. なべ小ねじ
25. シャワーヘッド
26. シャワーホース
27. オーバーヘッドシャワー
28. ジョイントパッキン
29. オーバーヘッドシャワーパイプ
30. 六角穴付き止めねじ

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替え
ご検討

摩耗劣化部品の交換

日頃のお手入れについてはP26~27、定期的な点検についてはP28をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例

シングルカートリッジ・接続金具・逆止弁(逆流防止弁)・レバー(ハンドル)・ストレーナ・パッキン・
オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP30を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、
部品交換の依頼
 - 訪問希望日

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには水栓の右下裏側に貼付のシールをご確認ください。



〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)	店名 住所
	本体		
お買上げ日 (お取付け日)			
お客様	お名前	見 本	
	ご住所		
	電話 ()	電話 ()	

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。

★ 補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

S A N E I 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>